

旧約聖書の中の黙示録 第1部

2009年6月28日 アシェル・イントレーター

聖書、すなわち「神のみことば」を理解する3つの簡単な原則は以下の通りです。

- 聖書は最初から最後まで一貫している: 創世記から黙示録まで。
- 聖書全体の中心人物はイエシュア: 神の御子でありダビデの子である。
- 聖書は書かれている通りの意味を示す: ほとんどの人が考える以上に**文字通り**である。

これらの結論に対する一つの証拠として、黙示録の中にある旧約聖書を用いることです。以下簡単に調べてみました。

主(YHVH)の御使い

黙示録1章で、イエシュア(イエス)はご自身を「初めであり、終わりである」と述べておられます。ヘブライ語で「初めに」という言葉は、創世記のタイトルと同じです。(訳注:ヘブライ語聖書で「創世記」は「プレシート(初めに)」です。)イエシュアは創世記から黙示録まで同じです。

黙示録 1:13-16 のイエシュアに関する記述は**ダニエル書 10:4-7** に現れる炎の人と類似しています。ヨハネの前に現れたこの人物はダニエルの前に現れた人物と同じでした。**黙示録1章**の目的は、イエシュアは旧約聖書全体にわたって現れた**主の御使い**であること表すためです。

神殿の象徴

黙示録に述べられている出来事にはユダヤ神殿に見られる多くのシンボルが含まれています。天にある原型を元にモーセは幕屋を作り、ダビデは神殿を建設しました(**出エジプト 25:40**、**1歴代誌 28:11**)。黙示録**11:19**、**15:8** でヨハネは天の幕屋を見ました。エルサレムの神殿はヨハネが黙示録で見た永遠かつ霊的な原型を元に建てられたのです。

黙示録 1-2章で、イエシュアは黄金の燭台の真ん中に立っておられます。その燭台は神殿の燭台の、天の御国版です。この燭台は7つの教会(真の教会)の中におられるイエシュアを表し、神の栄光によって火が灯されています。

黙示録 16章にある怒りの鉢は、神殿奉仕で祭司たちが使う鉢と似ています。

黙示録 8:3-5 の香は聖徒たちの祈りを表し、神殿で捧げられる香の預言的な成就です。洗礼者ヨハネの父であるゼカリヤが祭司の務めの間、神殿の香と聖徒たちの祈りは共に立ち上りました(**ルカ 1:10**)。

御使いの活動、聖徒たちの祈り、そしてユダヤ祭司の奉仕という3つのより糸は終わりの時に黙示録 11:1-2 にあるように、エルサレムに神殿が再建された場合再び起こります。そこは、主がヨハネに神殿の中庭を測れと言われた所です。

天の礼拝

黙示録には7つの天の礼拝が述べられています。

1. 黙示録 4:8-11 聖なる、聖なる、聖なる。
2. 黙示録 5:9-14 ふさわしき小羊。
3. 黙示録 7:10-12 救いは神にあり、小羊にある。
4. 黙示録 11:17-18 万物の支配者。
5. 黙示録 15:3-4 偉大で驚くべきもの。
6. 黙示録 19:1-2 救い、栄光、力。(大淫婦の裁き)
7. 黙示録 19:6 主は支配者となられた。(花嫁は整えられた)

地上の聖徒たちは天の御使いたちと共に調和して礼拝しています。この天の礼拝は古代イスラエルの礼拝と終わりの時の教会の礼拝と調和します。黙示録 15:3 には「彼らは、神のしもべモーセの歌と小羊の歌とを歌って」とあります。

ラッパを吹き鳴らす

黙示録 8-11 章にある7つの角笛(ラッパ)はエリコの戦い(ヨシュア6章)でラッパを吹き鳴らすことと類似しています。ラッパは私たちが地球から離れるという預言的なしるしではなく、地球を獲得することを示しています(黙示録 11:15 にあるように、7つ目のトランペットが吹き鳴らされる時)。黙示録のラッパはもうすぐ来られるイエシュア(ヨシュア)と聖徒たちの軍勢による地球の再奪取を表す預言的な宣言なのです。

黙示録のラッパはラッパの祭り(注)とつながっています。ラッパの祭りの意味は黙示録のラッパにおける、艱難時代の裁きで成就します。イスラエルの例祭は「指定された時」であり、将来と過去において預言的な意味を持っています。

訳者注:ラッパの祭りとは、レビ記 23 章に述べられている「7つの主の例祭」、すなわち、安息日、過越の祭り、初穂の祭り、七週の祭り(ペンテコステ)、ラッパの祭り、大贖罪日、そして仮庵の祭りの一つ。ラッパの祭りは聖書暦第7月「ティシュリの月」第1日目に行われる祭りで、現在の聖書暦の新年の祭りで、イスラエルを初め世界各国のユダヤ人はこの日一斉に角笛を吹き鳴らします。2009 年は 9 月 18 日の日没と共に始まります。

過越の祭りとの類似

黙示録 15-16 章にある災いは**出エジプト 7-11 章**の災いと類似しています。モーセとアロンがファラオの支配に対決したように、反キリストに対して二人の証人が対決しました(**黙示録 11、13 章**)。黙示録の災いは反キリストが聖徒たちに攻撃するものではなく、悪の主権に対する神の裁きなのです(**出エジプト 12:12**)。

主の災いの間、エジプトに対する証としてイスラエルの子らはゴシェンの地で守られました。同じように、聖徒たちも艱難の間取り去られることなく、救われていない世の人々に対する証として超自然的に裁きから守られるのです(**出エジプト 9:6、10:23、黙示録 7:3**)。

旧約聖書の預言者たち

黙示録 5-8 章の封印は**ダニエル書**の封印と同じです(8:26、12:4、9)。ダニエルは終わりの時の預言が与えられましたが、彼の時代にそれを理解することは事実上不可能でした。預言の意味は封印されていたのです。現在、神はご自身の終わりの時のご計画を表し始めています。その封印は解かれたのです。

黙示録の預言的なシンボルは「何もないところから出てきた」孤立した神秘主義ではありません。むしろ過去の全ての預言の成就、完成なのです。

- 黙示録 4 章**にある御座、宝石に満ちた天の世界、そして4つの生き物は**エゼキエル 1 章**で同じことが述べられている。
- 黙示録 12 と 21 章**の栄光に満ちた花嫁はシオンの娘やイスラエルのすべての敬虔な女性たち(**ホセア 2:19**)と連続している。
- 黙示録 13 章**の獣は**ダニエル 3、7、8 章**にある獣と連続している。
- 黙示録 14 章**の大いなる収穫は、トーラー(訳注:律法の書、モーセ五書)にある収穫の教えと連続している。
- 黙示録 17 章**の大淫婦は**イゼベル**とイスラエルのすべての邪悪な女性たちと連続している。
- 黙示録 17-18 章**のバビロンに対する裁きはイスラエルの預言書に記録されているすべての国々に対する裁きと連続している。
- 黙示録 20:2**にサタンとして述べられている古い蛇は、**創世記 3 章**の蛇と同じである。

神の御国のご計画は創世記で小さな種のように始まり、様々な段階を経て成長し、黙示録で最終的に結実するのです。

(第二部は来週)